

令和5年度 利根町地域公共交通活性化協議会（茨城県利根町） （地域公共交通計画策定事業）

公共交通の概況・地域の特徴

利根町は、4つの地区（布川地区、文地区、文間地区、東文間地区）からなる都市構造を有している。また、日常生活圏が取手市や龍ヶ崎市などの周辺市町にまで拡大しており、町内の各地区から町内の拠点をつなぐこと、町外への移動に対応した公共交通網の検討が必要となる。

町内の公共交通は、路線バスが町内から取手駅や千葉県我孫子市の布佐駅に運行されており、福祉バス（福ちゃん号）が町内の公共施設、医療施設、商業施設などを循環しながら運行している。また、町内全域をカバーしつつ、一部町外にも接続するデマンド交通の「ふれ愛タクシー」を実施している。

地域の抱える問題点・計画策定調査の必要性

現在、高齢化や人口減少の影響を受け、公共交通全般の利用者が減少傾向にあり、地域公共交通の確保・維持が全国的な課題となっている。当町においても例外ではなく、自治体、運行事業者、地域住民が一体となって共有し、それぞれがWin-Winとなれるような効率的な運行方法や利用促進策等を展開し、少子高齢化の進行や働き方改革をはじめとした社会環境の変化といった、将来を見据えた交通環境の構築を目指す必要がある。

このため、当町の公共交通の運行状況や利用状況、さらには地域住民の特性や公共交通に対するニーズのほか、周辺市町の公共交通の今後の方向性といった、地域公共交通の利用や維持・存続に関わると考えられる様々な状況を広く調査し、現状を把握することが不可欠である。

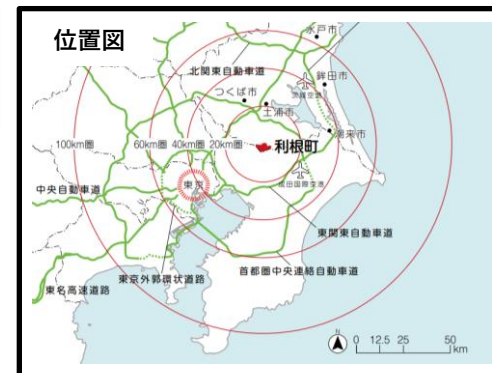
アピールポイント

各種アンケート調査の実施前に、調査票などの調査内容について、委員から幅広い意見をいただき、アンケート調査票に反映するように努めた。また、QRコードを読み込んでスマートフォンやPCからも回答可能とすることで、回答者の負担軽減と回答者数の増加を図った。

アンケートの設問項目については、日常生活の移動状況、公共交通の利用状況や改善ニーズに関する設問項目を設定しつつ、新たな公共交通サービスに対するニーズに関する設問項目を設定した。新たな公共交通サービスについては、回答者がイメージしやすいようにイラスト等を示すなど工夫を行った。

町民の日常生活における移動状況、移動に関する困りごと、公共交通に対する改善ニーズをきめ細かく把握するため、各種アンケート調査（町民アンケート、路線バス利用者アンケート、福ちゃん号利用者アンケート、ふれ愛タクシー登録者・利用者アンケート）だけでなく、3つの地区において、町民との意見交換会（ワークショップ）を開催した。

町民の公共交通に対するニーズをきめ細かく把握し、利根町の地域公共交通を取り巻く課題、今後の公共交通のあり方の検討につなげた。



面積	24.86km ²
人口（R5.4.1時点）	15,323人
15歳未満	1,051人
65歳以上	6,973人
高齢化率	45.5%

協議会開催状況

■第1回会議（令和5年5月）

- ・地域公共交通の現状について
- ・地域公共交通計画の策定について

■第2回会議（令和5年10月）

- ・地域及び公共交通の現状整理結果の報告
- ・各種調査計画の協議

■第3回会議（令和6年1月）

- ・各種調査結果の中間報告
- ・地域公共交通を取り巻く課題整理の中間報告

【参考資料】地域の交通体系図

